

平成23年度病害虫発生予察注意報第1号

平成23年6月3日
愛知県

作物名：ナシ
病害虫名：黒星病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 やや早い
- 3 発生程度 多い
- 4 注意報発令の根拠

(1) 5月下旬の巡回調査において、32ほ場を調査したところ、県内各地の5ほ場でナシ黒星病の発生を確認した。発生状況は、葉での発病ほ場率15.6%、発病葉率1.31%、発病果率1.38%（平成22年：発病ほ場率7.4%、発病葉率0.10%、発病果率0.20%）と、過去10年間と比較して発病ほ場率は2番目、発病葉率と発病果率は最も高くなっている。

(2) 6月上旬に、県内全域で発生ほ場を確認している。

(3) 5月27日頃梅雨入りしたものと見られ（平成22年に比べ12日早い）、向こう1か月の気温は平成22年並で今後も曇雨天の日が多く、降水量は平成22年並か多いと予想されるため、発病に好適な条件が続く。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 発病した葉や果実は伝染源となるので取り除き、園外へ持ち出す等処分を徹底する。
- (2) 薬剤感受性の低下を避けるため、同一系統薬剤の連用を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する（下表参照）。
- (3) 農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

表 ナシ黒星病に対する主な防除薬剤

| 系統 | 薬剤名 | 希釈倍数 | 収穫前日数 | 使用回数 |
|----|---------------|---------------|----------|------|
| A | ベルコートフロアブル | 1,500倍 | 収穫14日前まで | 4回以内 |
| B | スコア顆粒水和剤 | 4,000倍 | 収穫14日前まで | 3回以内 |
| B | インダーフロアブル | 5,000～12,000倍 | 収穫7日前まで | 3回以内 |
| C | オキシラン水和剤 | 500～600倍 | 収穫3日前まで | 9回以内 |
| D | アミスター10フロアブル | 1,000～1,500倍 | 収穫前日まで | 5回以内 |
| D | ストロビードライフロアブル | 3,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |
| E | アフェットフロアブル | 2,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |

系統名 A：グアニジン系、B：EBI系、C：有機塩素系＋有機銅、D：ストロビルリン系
E：その他

6 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除グループ
電話：0561-62-0085（内線471）